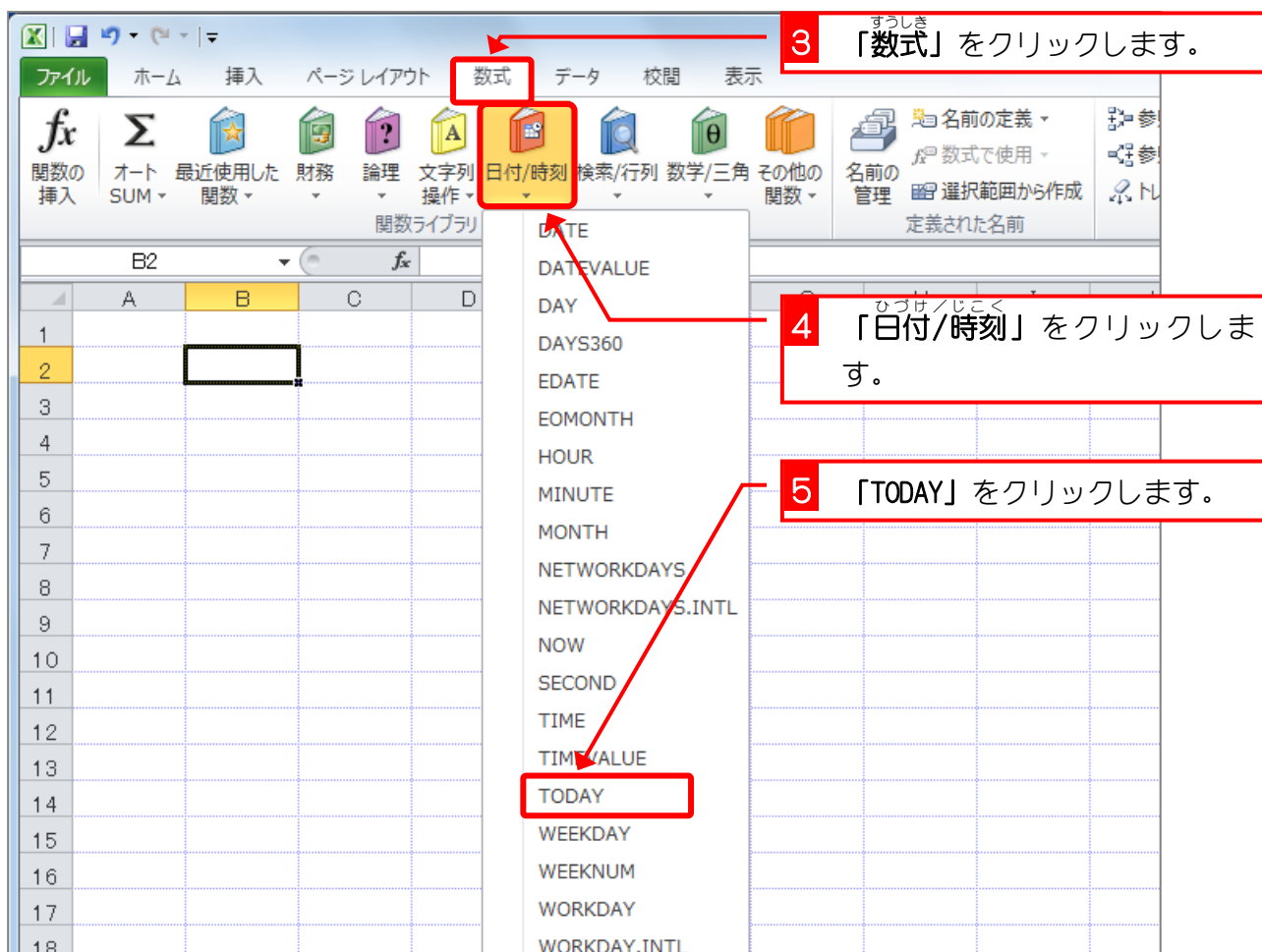
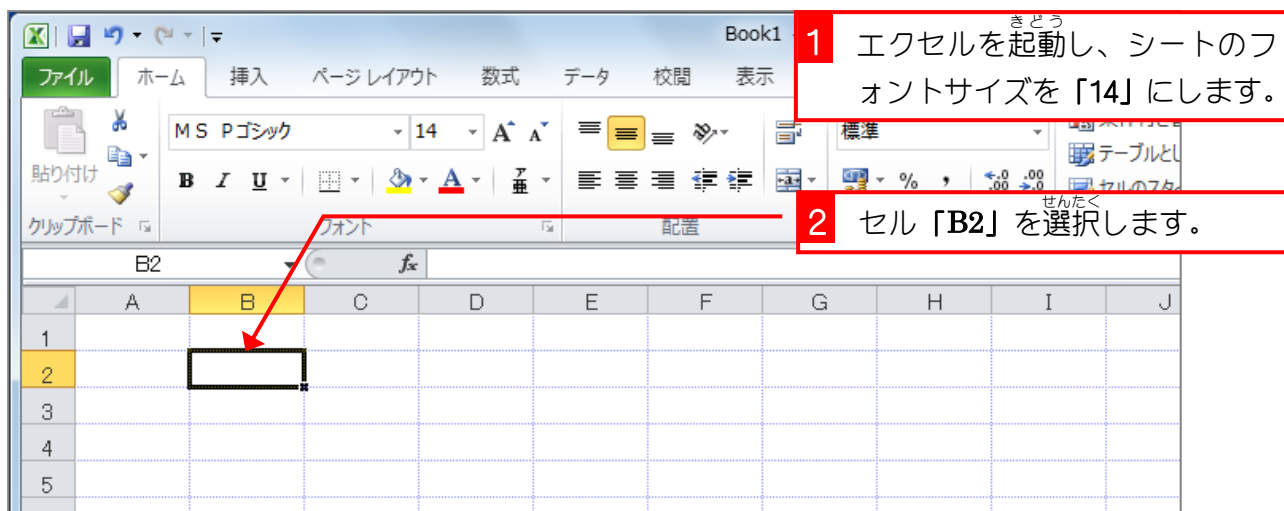
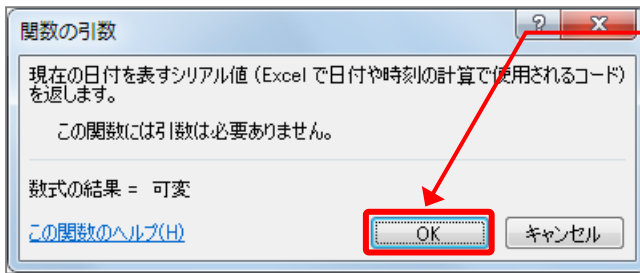


第 4 章 ■ 日付の関数と IF 関数

STEP 1. 現在の日付 TODAY (トゥーデー)

- セル「B2」に TODAY 関数^{かんすう}を使い現在の日付^{ひづけ}を入力^{にゅうりよく}しましょう。





6 「OK」をクリックします。

関数ライブラリ

TODAY 関数が
入力されました。

今回は「関数ライブラリ」を使って
入力しましたが、キーボードから
直接「=TODAY()」と打ち込んでもかま
いません。

現在の日付が
表示されまし
た。

	A	B	C	D	E
1					
2		2010/3/13			
3					
4					
5					
6					
7					

ポイント TODAY (トゥデイ) 関数

現在の日付に対応するシリアル値を返します。

TODAY ()

練習問題

- セル「D2」に TODAY 関数を使って今日から 10 日後の日付を表示しましょう。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		2010/3/13		2010/3/23					
3									
4									
5									
6									

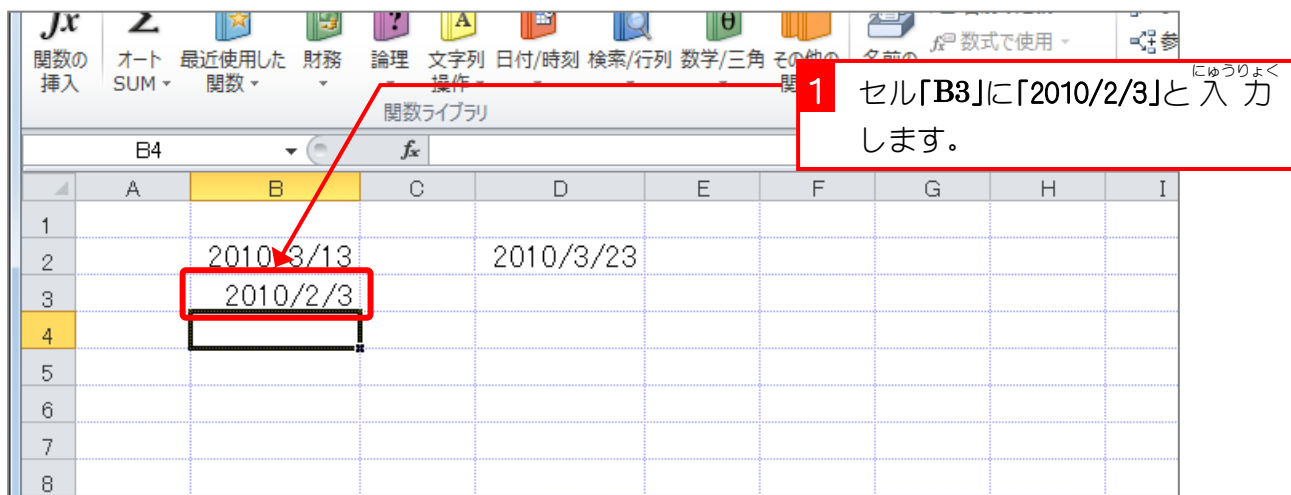
日付はテキストとは異なり
ます。

ヒント

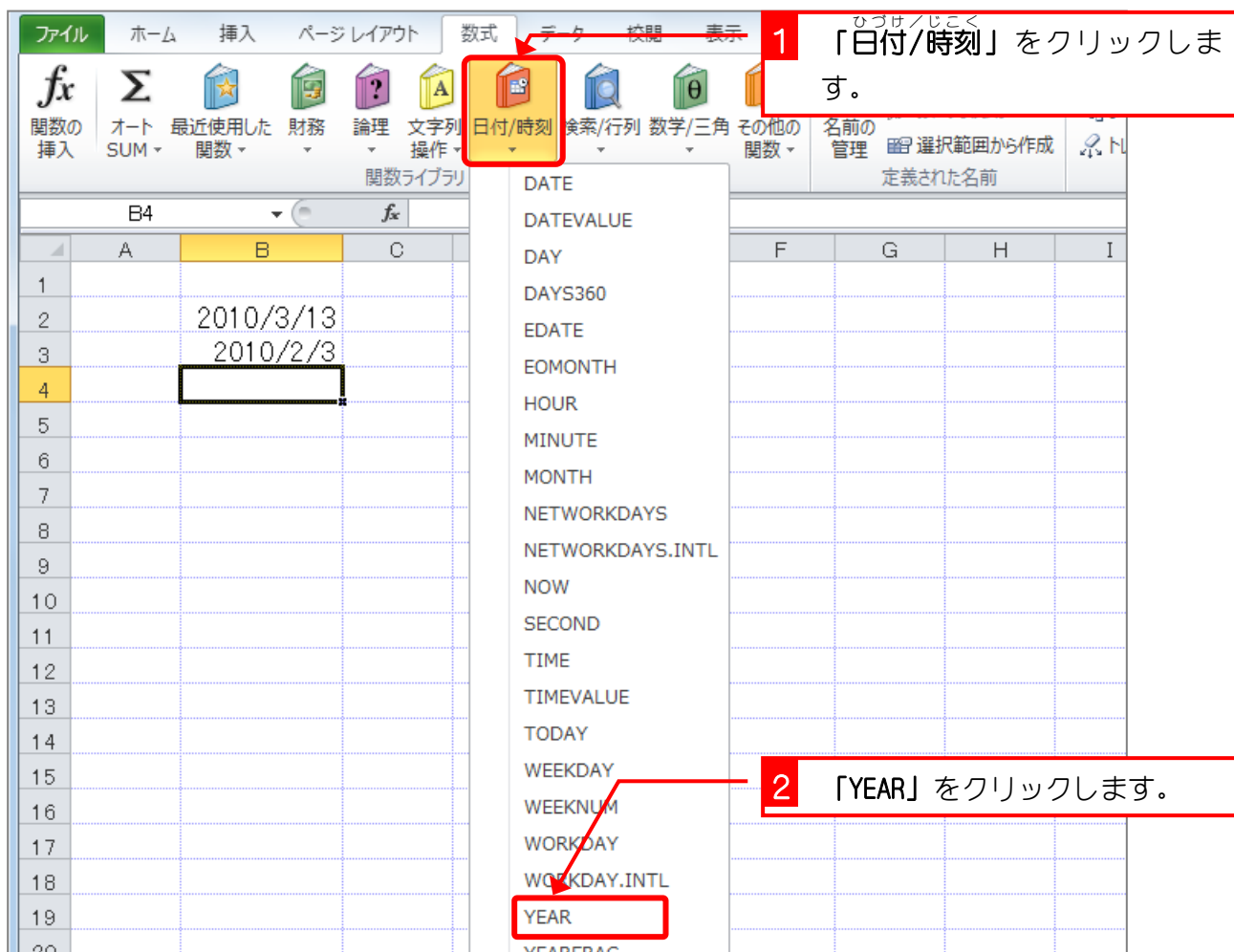
今日から 10 日後の日付は TODAY () + 10 で計算します。

STEP 2. 日付から西暦を取り出す YEAR (イヤー)

- セル「B3」に日付「2010/2/3」を入力しましょう



- セル「B4」に YEAR (イヤー) 関数を使いセル「B3」の日付の西暦 (2010) を表示しましょう



関数の挿入 オート最近使用した 財務 論理 文字列 日付/時刻 検索/行列 数字/三角 その
SUM 関数 操作 関数ライブラリ

3 セル「B3」をクリックします。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		2010/3/13		2010/3/23					
3		2010/2/3							
4		=YEAR()							

関数の引数

YEAR
シリアル値 | = 数値
=

年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。
シリアル値 (には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。

数式の結果 =
[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

参考 「関数の引数」ダイアログボックスが邪魔になる時は


ダイアログボックスが邪魔になる場合はダイアログボックスを小さくしましょう。


関数の引数

YEAR
シリアル値 | = 数値
=

年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。
シリアル値 (には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。

数式の結果 =
[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

A シリアル値の  をクリックすると小さくなります。

B  をクリックすると元の大きさにもどります。

関数の引数

関数の引数

YEAR
シリアル値 B3 = 40212
= 2010

年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。
シリアル値 (には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。

数式の結果 = 2010
[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

4 シリアル値が「B3」になったことを確認します

5 「OK」をクリックします。

YEAR 関数 が
入力されま
した。

「2010/2/3」の西暦
部分「2010」が表示
されました。

「関数ライブラリ」を使って入力
しましたが、キーボードから直接
「=YEAR(B3)」と打ち込んでかま
いません。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		2010/3/13		2010/3/23					
3		2010/2/3							
4		2010							
5									
6									
7									

ポイント YEAR (イヤー) 関数

日付に対応する年を整数で返します。

ひづけ
YEAR (日付)

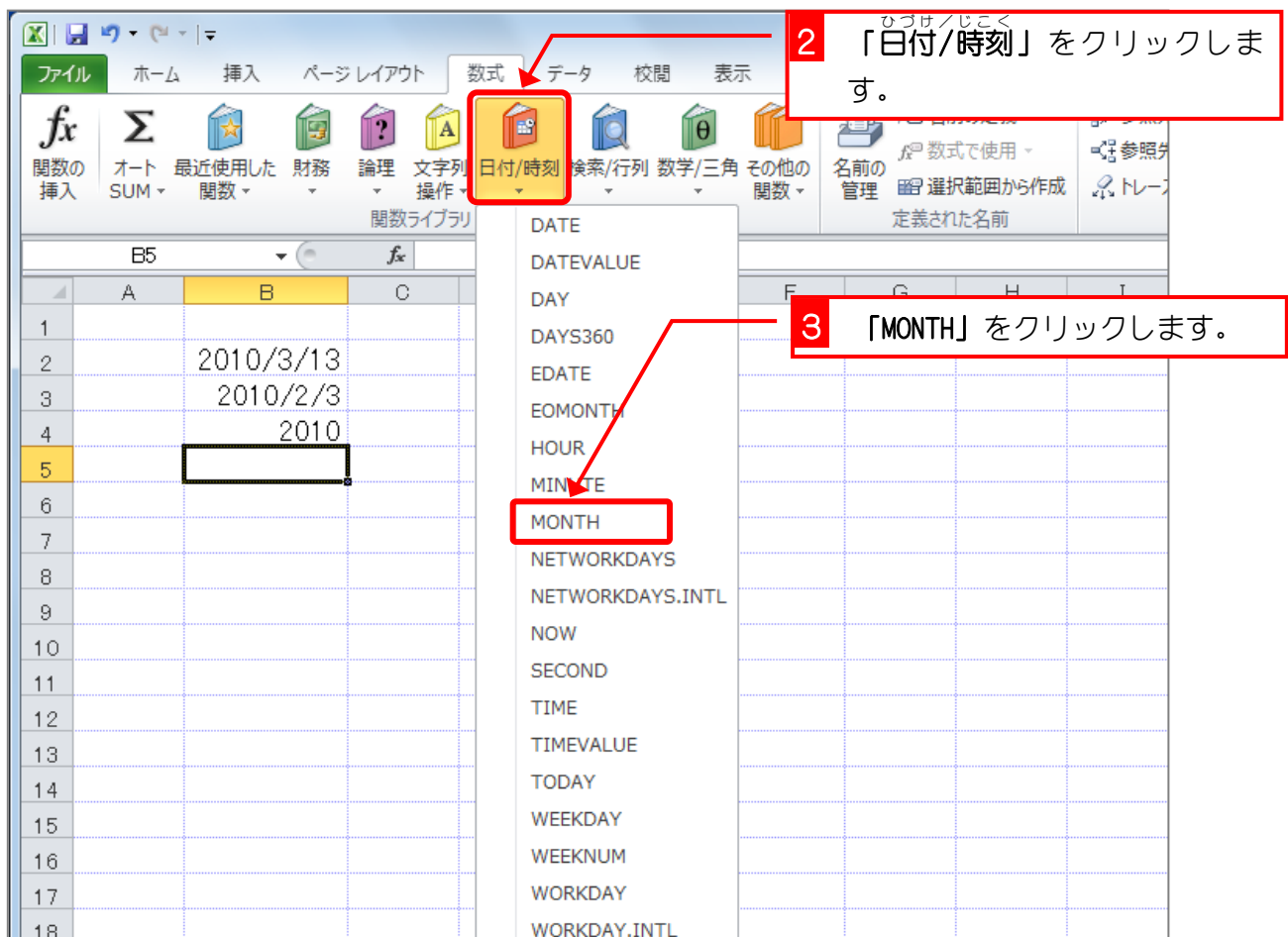
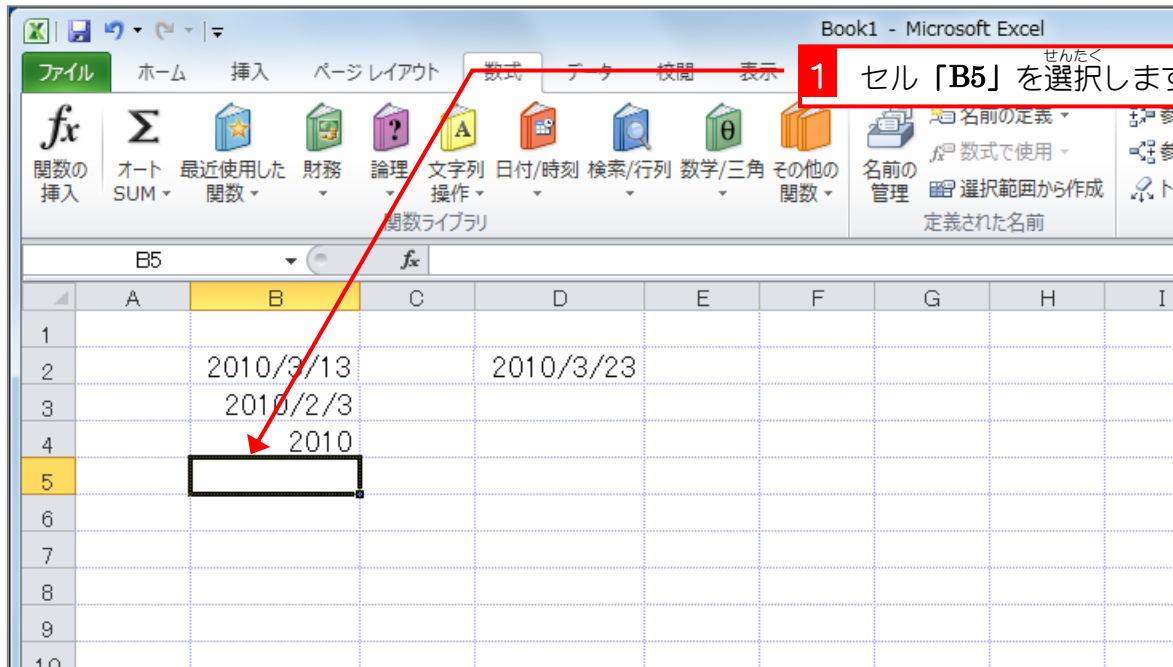
解説 関数の引数 (ひきすう)

関数を呼び出す時にその関数に渡す値を「引数」と言います。YEAR関数の場合「日付」が「引数」になります。YEAR関数は「引数」として日付の値を受け取り、その日付から西暦の値を計算し、計算結果を呼び出したところに返します。

「引数」は「YEAR (B3)」のように関数名の後に () を付けて記入します。TODAY関数は「引数」を必要としない関数ですが、引数がない場合でも () を省略せず TODAY () と書きます。

STEP 3. 日付から月を取り出す MONTH (マンス)

- セル「B5」に MONTH (マンス) 関数を使いセル「B3」の日付の月の「2」を表示しましょう



4 セル「B3」をクリックします。

5 シリアル値が「B3」になったことを確認します

6 「OK」をクリックします。

MONTH 関数が入力されました。

「2010/2/3」の月の部分「2」が表示されました。

「関数ライブラリ」を使って入力しましたが、キーボードから直接「=MONTH(B3)」と打ち込んでもかまいません。

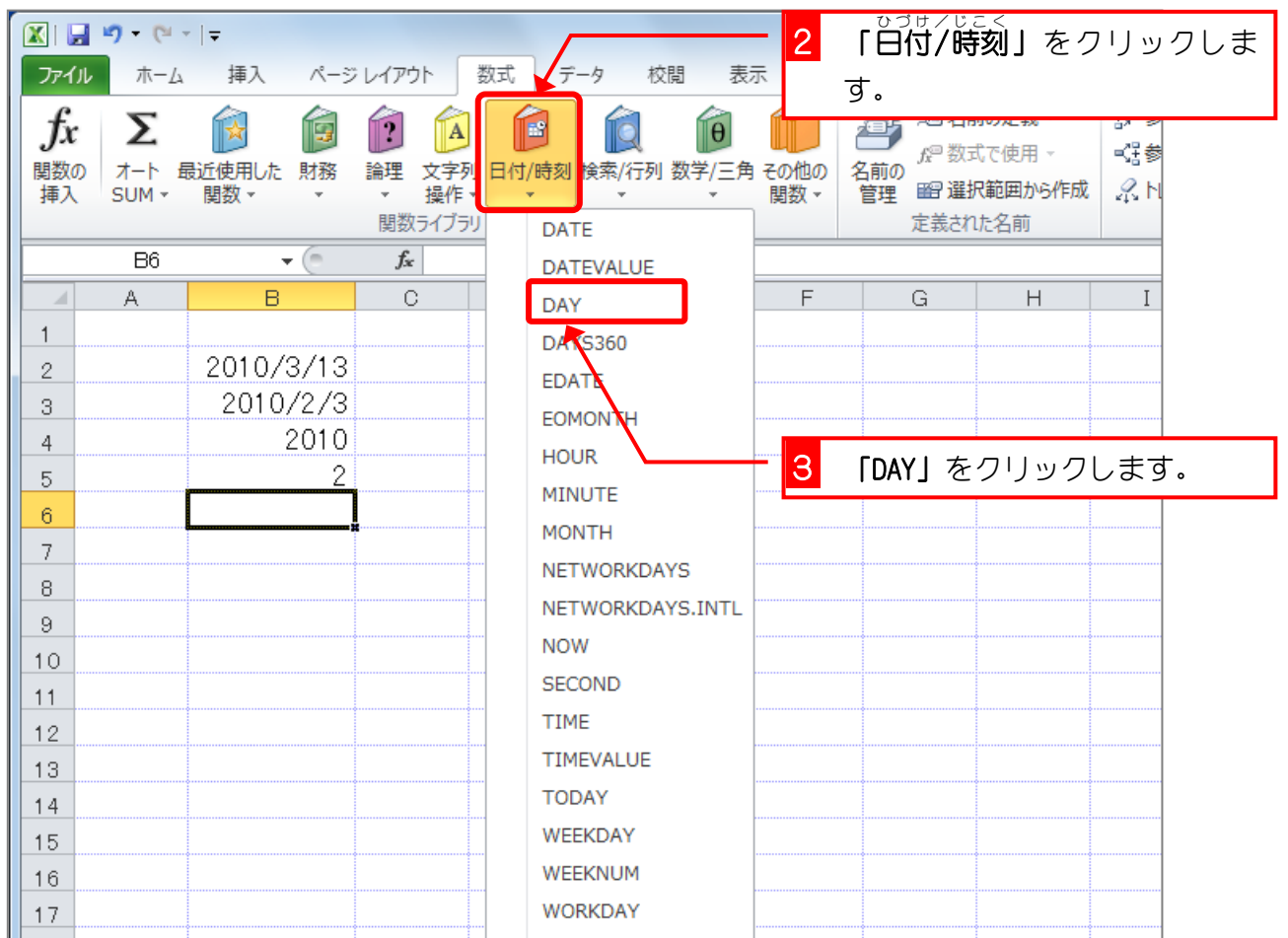
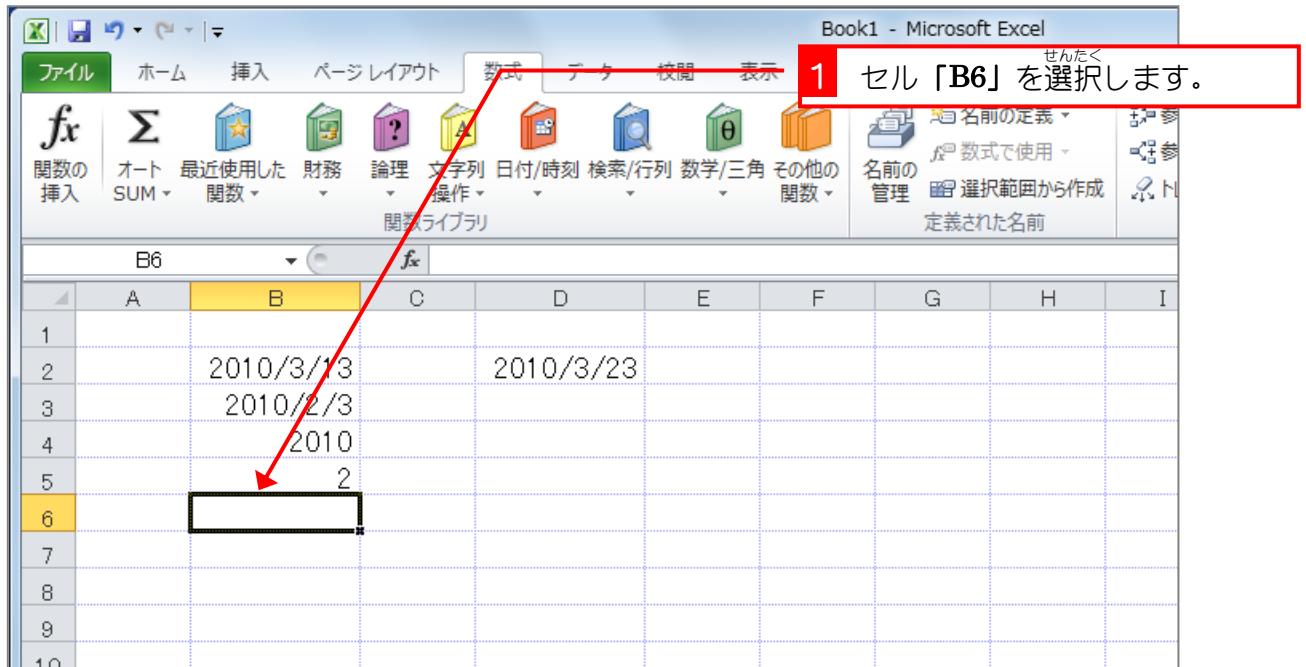
ポイント MONTH (マンス) 関数 かんすう

ひづけ 日付に対応する月を せいすう 整数で返します。

ひづけ
MONTH (日付)

STEP 4. 日付から日を取り出す DAY (デイ)

- セル「B6」に DAY (デイ) 関数を使いセル「B3」の日付の日の「3」を表示しましょう



4 セル「B3」をクリックします。

5 シリアル値が「B3」になったことを確認します

6 「OK」をクリックします。

DAY 関数が入力されました。

「2010/2/3」の日の部分「3」が表示されました。

「関数ライブラリ」を使って入力しましたが、キーボードから直接「=DAY(B3)」と打ち込んでかまいません。

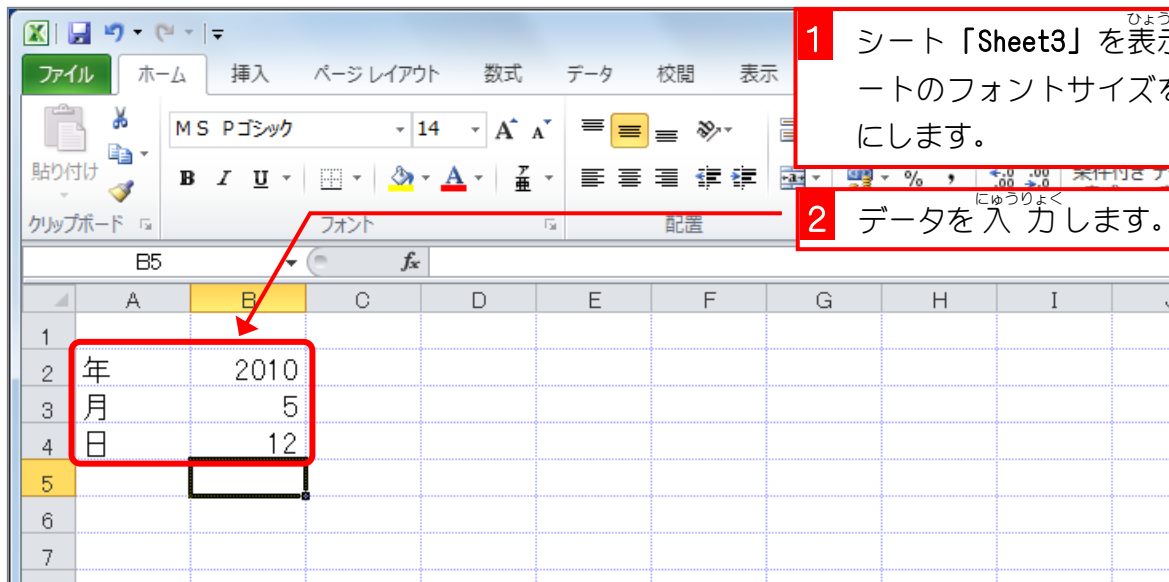
ポイント DAY (デイ) 関数

日付に対応する日を整数で返します。

ひづけ
DAY (日付)

STEP 5. 年、月、日から日付を作る DATE (デイト)

1. シートを^{ようじ}用意しましょう

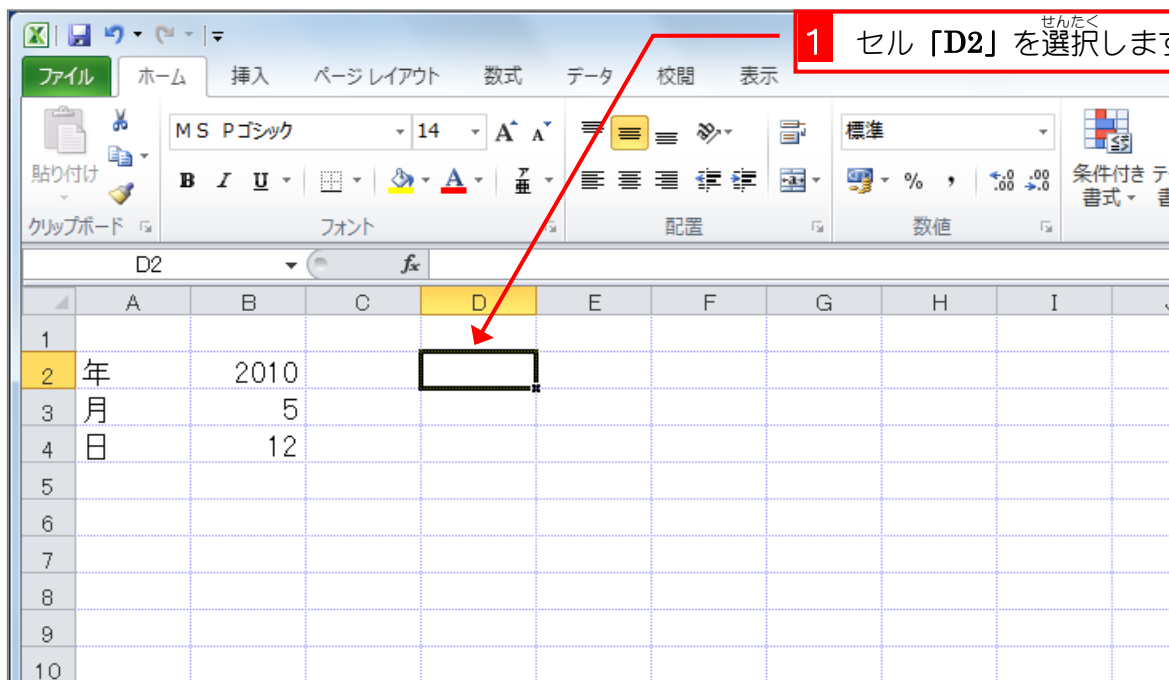


1 シート「Sheet3」を^{ひょうじ}表示し、シートのフォントサイズを「14」にします。

2 データを^{にゅうりょく}入力します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	年	2010								
3	月	5								
4	日	12								
5										
6										
7										

2. セル「D2」に、セル「B2」～「B4」の^{あた}い値をもとにした^{ひづけ}日付^{つく}を作りましょう。



1 セル「D2」を^{せんたく}選択します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	年	2010								
3	月	5								
4	日	12								
5										
6										
7										
8										
9										
10										

